

会 議 記 録

会議名称	平成 28 年度 第 2 回北本市環境審議会
開会及び 開会日時	平成 29 年 1 月 17 日 (火) 10 時 00 分から 11 時 00 分
開会場所	北本市役所会議室 3-B
議長氏名	会長 堂本 泰章
出席 委員(者) 氏 名	堂本 泰章、白川 容子、伊藤 宏忠、富家 俊男、程塚 繁、 中村 洋子、今関 公美、滝瀬 光一、小林 貞作、谷津 英治、 長島 勝利、猪俣 孝一、齋地 満
欠席 委員(者) 氏 名	荻島 和美、岡崎 修
説明者の 職 氏 名	市民経済部環境課長 加藤 浩 環境政策・衛生担当主幹 中根 武 環境政策・衛生担当主事 小島 有香子
事務局職 員職氏名	市民経済部環境課長 加藤 浩 環境政策・衛生担当主幹 中根 武 環境政策・衛生担当主事 小島 有香子
	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 あいさつ 3 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 北本市環境基本計画年次報告書（平成 28 年度版）答申案について (2) その他 4 閉会
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・次第 ・北本市環境基本計画年次報告書（平成 28 年度版）答申案 ・北本市環境基本計画年次報告書平成 28 年度版【事前配布】

会 議 記 録

発言者	発 言 内 容
	<p>1 開 会</p> <p>2 あいさつ 会長よりあいさつ 一略一</p>
事務局	<p>議事に移る前に、事務局から報告があります。平成 27 年度から審議していた総合振興計画が、平成 28 年 12 月議会で可決をいただき、12 月に施行しました。これに伴い第二次北本市環境基本計画も最終校正をしており、遅くとも 2 月に出来上がる予定です。出来上がりましたら、各委員の皆様配布します。</p>
議 長 事務局	<p>3 議 事</p> <p>(1) 北本市環境基本計画年次報告書（平成 28 年度版）答申案について</p> <p>まず、事務局からパブリック・コメントの結果について報告をお願いします。</p> <p>前回の審議会のご意見を踏まえて修正した年次報告書について、11 月にパブリック・コメントを実施し意見を募集しましたが、結果として意見はありませんでした。また、事務局として最終的に修正したい点が 2 点ありますので、ご了承いただきたいと思います。</p> <p>－修正点説明略－</p>
議長 伊藤委員	<p>何かご意見ございますか。</p> <p>29 ページの「野生生物の保護」とありますが、アライグマやタヌキによる農業被害も増えていることを踏まえて、一方的に「保護」とするのではなく、「調和」などの言葉に変えるのはいかがでしょうか。最近荒川沿線で特に被害が多いと聞いています。保護だけでなく、場合によっては、罠をかけて捕まえることも必要です。</p>
議長	<p>アライグマは特定外来種ですので、県の計画があり、市町村で捕獲を進めていると思います。もし変えるなら、被害対策を進めるような言葉を加えたほうがいいと思います。また、自然環境調査ができていないなかで、アライグマやハクビシンがどのくらい増えているのか把握することは難しく、農業者の方とも意見交換しながら考えていく必要があると思います。</p>
猪俣委員	<p>近年県内のアライグマ捕獲頭数は多くなっていますが、積極的に捕獲を進めている市町村も増えていますので、生息数が増えているのか、単に捕獲数が増えているのか判断は難しいです。</p>
滝瀬委員	<p>家の中まで入ってくるので、数が増えていると感じます。北本市では農業関係で鳥獣被害の協議会があり会議を行っているので、協議会を通じて何らかの対応が必要と考えます。</p>
議長	<p>アライグマに関しては関係者の方に講習会を受けてもらうだけでも、習性がわかり効率的な捕獲にも役に立つと思います。また、他の市町村とも連携が必要な問題だと思います。今後、審議会でも研究していく必要があると思います。</p>
程塚委員	<p>いくつか確認させてください。取り組みの進捗状況を見ると、OE 評価がありますが、何もやっていないということでしょうか。文章中の参照ページが誤っています（25、37、43 ページ）。また、文章のなかで前年度と比較して実績を述べる際には平成 27 年度を基準にして比較しないとわかりにくいと思います（24、44 ページ）。31 ページの「フクラ緑化システム」や「デーノタメ遺跡」については用語解説が必要だと思います。27 ページに「基金</p>

会 議 記 録

の充実を図った。」とありますが、図って何をしたのかが必要ではないでしょうか。33ページの「中山道街並み整備事業」で「平成26年度は拡幅工事は行われていない。」とありますが、27年度はどうなのでしょう。39ページの水資源の有効利用は、「実施事業なし」ですが、今後、何らかの取り組みをすべきと考えます。46ページの牛乳パックの回収量が減っているのはなぜでしょうか。

滝瀬委員 年次報告書の中身については、前回審議したうえでパブリック・コメントをにかけていますので、ここの場で修正は難しいと思います。

議長 ページの間違いについては、修正可能ですか。また、文言がわかりづらいというご指摘がありました。パブリック・コメントにかけたものと全く意味が変わってしまうと困りますが、可能な範囲で修正をお願いしたいと思います。

事務局 パブリック・コメント後でも必要最小限度であれば修正は可能です。意見を集約して対応させていただきます。

議長 ○E評価の項目についてですが、環境基本計画自体にいろいろ盛り込んでしまい、結果として手を付けられなかったという反省があります。その反省を踏まえて今回計画を見直していますのでご理解いただければと思います。

事務局 牛乳パックについては、平成27年度から小中学校が別ルートで独自に回収しており、その分がこの集計から除かれています。また、事務局で把握していませんが、各スーパー等の店頭回収が増えている影響もあり、減少傾向であると思われます。

程塚委員 38ページの水質調査結果でBODがかなり高い値のところがありますが、これはなぜでしょうか。

事務局 後で調べてご報告します。

議長 今後の第二次北本市環境基本計画についても年次報告書をつくっていくこととなりますが、今ご指摘あったように、ケアレスミスはないようにお願いします。また、いろいろな課からの報告をまとめて作成しているのだと思いますが、最終的にわかりやすく統一感があるように工夫していただきたいと思います。

年次報告書については、よろしいでしょうか。修正点については事務局と調整し、後日報告したいと思います。

議長 次に、年次報告書を見たらうで次年度こうあってほしいということ添えて市長に答申したいと思います。答申案をたたき台として作り、3つ意見を書かせてもらいました。一つは、雑木林が減っていることについてです。2つ目は年次報告書そのものについてですが、先ほどもわかりやすくというお話がありましたが、パブリック・コメントで意見がゼロというのは、伝わっていないという悪い評価だと感じています。ですから、きちんと伝えることが必要だと思います。そして3つ目に、ずっと言っていることですが、人員の配置について入れさせてもらいました。皆さんの意見を伺って修正したいと思いますので積極的なご意見をお願いします。

程塚委員 前文で昨年5月と12月の国際会議について触れられていますが、その間に地球温暖化の関係で、パリ協定に批准したことについて入れておいたほうが良いと思います。

富家委員 3つ目の人員の配置については、市の職員ということでしょうか。例えば自治会に人を配置して環境美化などを推進してはどうでしょうか。防犯の関係で防犯推進員として市から委嘱された人がパトロールを実施している例があります。

会 議 記 録

議長	自治会でやるが多すぎるという話もありますので、こういった体制をつくれるのか議論が必要だと思います。
富家委員	1人だと難しいですが、毎月1回とか東側・西側でそれぞれ1か所に集まってみんなでゴミ拾いなどができるような体制があるといいと思います。
中村委員	自然環境調査などは、今ウォーキングをしている方がたくさんいるので、そういった方たちに自然の良いところを見つけてもらうなど、まち全体で取り組みができるといいなと思います。
議長	朝霞市では市民から情報提供を受けて市の環境データを積み上げています。また、草加市の生き物調査員などを参考にすれば、費用をかけずに行える方法もあります。このような取り組みを進めるには、コーディネートする職員が必要ですが、そこが足りていません。すべてボランティアではできないし、今の職員だけでは圧倒的に時間と労力が足りないと思います。こういった年次報告書一つをとってもどうアピールするか、コーディネートする人がいればやり方はたくさんあると思いますが、それができる体制ではないと思いますので、このように書かせてもらいました。
程塚委員	環境学習・環境教育として、子供たちがまちに出て自然の良さを探したりすれば、環境意識の向上にもつながるので、教育委員会と連携してうまくできないでしょうか。
堂本委員	例えば、石戸小の子供たちはトラスト地での体験学習を行っています。教育現場も忙しいですが、趣旨を理解していただいて連携できればと思います。
谷津委員	ごみ減量等推進市民会議には、自治会から選出された推進員が現在のところ約160名いて、ごみだけではなく環境についても環境美化委員と協力して活動することがあります。環境美化を推進するために自治会で新たな役の人を設けるのではなく、ごみ減量等推進員を活用してもらえればと思います。また、教育についてですが、幼稚園のころから環境教育の取り組みをしているところもあるそうです。小さいころからの教育が重要になると感じました。
議長	<他意見なし> ご意見ありがとうございます。それでは、答申については各委員の意見を踏まえると、若干修正が必要だと思いますが、大筋は答申案のとおりということでご了承いただきたいと思います。修正したものを後日、皆さんにお送りします。
副会長	4 閉会 副会長よりあいさつ 一略一

議事の顛末・概要を記載し、その相違なきを証するためにここに署名する。

平成29年2月3日

会 長

